



電気ケトルによるやけどに注意！

～ 小さいお子さんがいるご家庭では特に注意が必要です ～

電気ケトルは、湯を素早く沸かせる便利な器具ですが、一方で、沸かした湯等に触れて**やけどをする事故も発生**しています。特に、**0歳児及び1歳児が、電気ケトルを転倒させ漏れ出た湯によりやけどを負う事例が多く見受けられます。**

このため、東京都は電気ケトルによるやけどに関する商品テストを実施しました。

商品テスト結果（抜粋）

テスト対象品

市販されているものから9商品^{※1}を選びテストを実施。

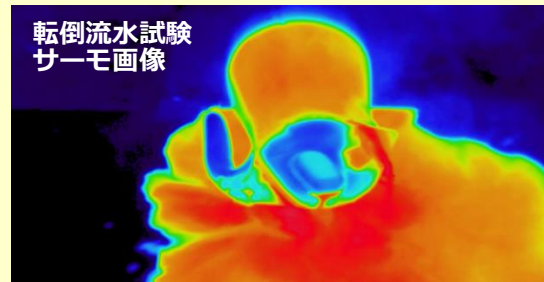
※1 3つのやけど対策機能（転倒流水防止構造、本体二重構造、蒸気レス）を有する商品を2つ、有しない商品を7つ選択した。

倒してしまった場合は…

- 最大水位線まで水を入れて沸騰させた後、転倒させ **流出する湯の量^{※2}** を測定。
- 転倒流水防止構造を有しない多くの商品で、**5割を超える湯** が流出した。

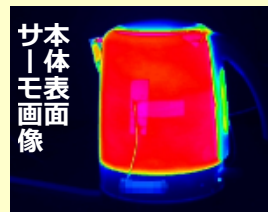
〔転倒流水防止構造を有する商品の湯の流出は、**2%以下**であった。〕

※2 転倒後約10秒間の流出水量



表面や吹出口の温度は…

- 最大水位線まで水を入れて沸騰させた時の **本体表面** と **蒸気吹出口** の **温度** を測定。
- 本体二重構造を有しない商品では、本体側面等で **80℃を超える温度** を記録した。
〔本体二重構造を有する商品の本体表面温度は、**60℃未満**であった。〕
- 蒸気レスを有しない商品では、蒸気吹出口の直上で **90℃を超える温度** を記録した。
〔蒸気レスを有する商品の蒸気吹出口（注ぎ口）の直上の温度は、**30℃未満**であった。〕



落としてしまった場合は…

- 高さ0.8mの **台から転倒落下** する状況を再現し、流出した水が **床面に広がる範囲^{※3}** を測定。
- 再現試験を行った4商品^{※4}で、流出した水が縦方向及び横方向に **約0.5m以上** 広がった。

※3 転倒落下後、水の流出及び流出した水の床面への広がり概ね止まった後の流出範囲を測定した。

※4 再現試験は、転倒流水試験で容量別（600,800,1000,1200ml）に平均流出水量が最も多かった商品について実施した。



詳しくはこちらをご覧ください。試験の動画等を掲載しています。



<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp>



【問合せ先】

東京都生活文化スポーツ局
消費生活部生活安全課
電話 03-5388-3082

【裏面へ続く】

消費者へのアドバイス

電気ケトルの使用でやけどをしないよう、次のことに気をつけましょう！

1 電気ケトルでやけどをする主なケースと注意点



転倒して
漏れ出た熱湯

本体を
転倒させない！



高温になった
本体表面

取っ手以外に
触れない！



吹き口などから
吹き出す蒸気

注ぎ口や蓋の蒸気穴に
手や顔を近づけない！

⚠️ 特に注意 ⚠️

0歳児と1歳児が
やけどを負う事例
が多くなっています。
小さいお子さんが
いるご家庭では、
特に注意しまし
ょう！

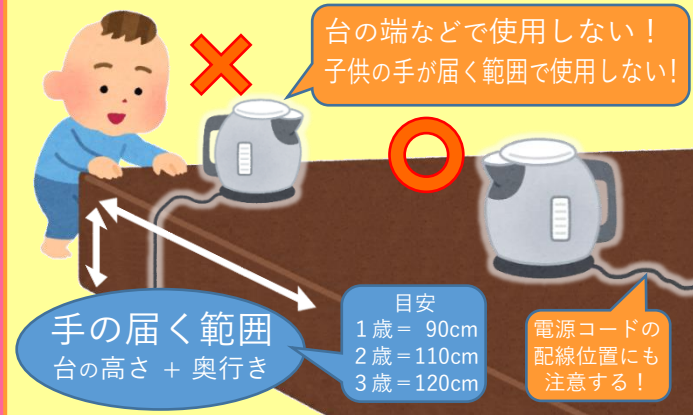
2 電気ケトルでやけどをしないための対策

(1) 使用場所に注意する

床の上や台の端など、転倒、落下の恐れがある場所で使用しない。
子供の手が届く範囲で使用しない。



床の上で
使用しない！



台の端などで使用しない！
子供の手が届く範囲で使用しない！

手の届く範囲

台の高さ + 奥行き

目安
1歳 = 90cm
2歳 = 110cm
3歳 = 120cm

電源コードの
配線位置にも
注意する！

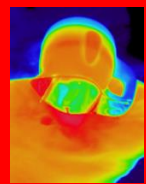
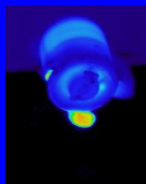
(2) やけど対策がされた商品を使用する

次のやけど対策機能を有する電気ケトルの使用を検討しましょう！

転倒流水防止構造
(お湯漏れ防止構造)

有り

無し

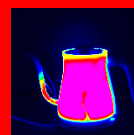


転倒時のお湯漏れが少ない

本体二重構造

有り

無し



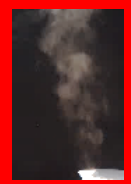
本体が熱くなりにくい

蒸気レス

蒸気セーブ、省スチームなど

有り

無し



蒸気の発生が少ない